

---

# たっぷりの恋

皿尾 りお

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

たっぷりの恋

### 【著者名】

N4582D

### 【作者名】

皿尾 りお

### 【あらすじ】

あなたも、たっぷりな恋、してみませんか？明るく、たっぷりな恋をどうぞ。

「「めんつー今日、残業で行けそうにない！ホンシット、『めんつー』」

・・・・・とても自信たつぱりの悪意。

私は彼にそう言わると、許すしかない。

彼の悪意はもはや、感嘆にアタイする。

・・・・私があなたの浮氣を知らないとしても思つているの？

・・・・でも、私は彼が好き。

だから、

「うえー！？・・・ん、でも、仕事だから仕方ないよね。アタシはちょっと、買い物して帰るよ。頑張つてね！」

と、言つて、携帯を切る。

・・・・彼を切つてやろつか？

・・・でも、私は彼が好き。

彼の自信たっぷりの悪意を、少し羨ましくも思つたりする。

私も自信をもつて悪い事がしたい！

「ごめんねっ！今日、急な接待が入っちゃつて！無理やりハゲ親父  
どものお供！だから、ホント、ごめんね！（うつしつし。ホントは、  
会社で人気の先輩とデートなのだ！）」

な～んて、想像してみたりする。

・・・でも、私は、悪い事が出来ない。

だつて、彼が好きだから。

・・・ん？彼は、悪い事が出来る・・・・・ん？私を好きじゃな  
い？

・・・

・・・

・・・まさかね！だつて、彼は、浮氣はするけど私を好きだつて言  
つてくれてるし！

・・・あ、でも、ちょっと、泣きそうだよ。

なんか、ちょっと、雨なんか降ってきたし。

傘持つて、来てないし。

今日に限つて、おひしたての靴だし。

“素敵な靴は、素敵な場所に連れて行ってくれる”って、言つたやツー出てこいつ！

そんな事を思つていると、私の頭の上にスッと傘が…。

「コキちゃん、何してんの！？」んな、雨の中で！風邪、引いたやうよー？」

誰だつー？と思い、顔を上げると……会社で人気の先輩だ！

私は、泣きたいうのをこらえながら、

「あつ、なんでも、ないんです。先輩こそ、こんなとこり彼女に見られたら、大変ですよ…」

私がそう言つと、

「はは、彼女なんか居たらいいねえ~、こんな雨の日なんかに遊びなんかできちゃうし。ちょっと、雨、強くなつて来たから、すぐそここのバーで少しだけ飲まない?」

と、言つてきた。

願つてもないチャンスだ!自信はないけど悪い事しそつ!

・・・・ホント、お洒落なバーだ!

・・・・先輩の細くて長い指・・・・す、セクシー! セクシー!

・・・・あつ、まつげ、長いなあ。

・・・・なんか、酔つ払つてしまつたあ。

「・・・ねえ、この後、予定とかあるの?」

そう耳元でセクシーな声で囁き、腰に長い腕を回してきた!

悪い事だ!悪い事だ!

今がチャンス!悪い事!

「うぬぼれないで下さいね。先輩くらいの男なり、『まんと居ますから。』

満面の笑みでそう言つと、私は、スツールをそつと降り、雨の上がつた店外に一人出た。

あまり星は見えないけど、私は夜空を仰ぎ、

「やつた！悪い事、してやつたぞ！会社の憧れの的を、振つてやつたぞ！」

と喜んだ！

私は、すがすがしい気分でおうちへ帰る事にした。

だつて、私は彼が好き。

完

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4582d/>

---

たっぷりの恋

2011年1月19日21時44分発行